

第2次小城市総合計画後期基本計画策定に係る総合計画審議会 その他の意見

R3.10.25第5回総合計画審議会 資料6-2

No.	項目	審議会での意見	市の対応
1	2-1道路の保全と交通網の充実	スマートインターチェンジの利用状況や経済効果について、情報提供してほしい。長崎方面からの利用者が多いと聞いている。小城市の活性化のためにはどのくらい利用があるかはまちづくりに影響する。	小城市ホームページ地方創生総合戦略有識者会議において、公表しております。 ちなみに、平成30年度実績値977台/日、平成31年度実績値1,081台/日、令和2年度実績値1,067台/日となっております。
2	2-1道路の保全と交通網の充実	203号線バイパスの進捗状況を教えてほしい。	現在の進捗状況としましては、令和2年度から引き続き、小城町栗原地区の地質調査を実施しております。
3	6-2学校教育の充実	小城市の小・中学生の不登校の実態はどうか。	昨年度30日以上欠席をしている不登校児童生徒数は、小学校が12名、中学校が54名です。ここ数年間、あまり変わらない状況にあります。
4	8-1多様な文化の理解と様々な交流の推進	都市間交流で知覧町との交流が始まった経緯は？	南九州市と小城市の交流の歴史は、旧小城町と旧知覧町時代にさかのぼります。 平成元年10月、旧小城町議会一行が行政視察で旧知覧町を訪問した際、知覧特攻平和会館で「ホテルになって帰ってきます」と言って出征して行った宮川三郎軍曹と1匹のホテルの悲話を聞いたことや、旧知覧町がホテルの里づくりを計画してゲンジボタルを探していることを知ったのが始まりです。 特産の知覧茶と小城羊羹の相性の良さや、それぞれの小京都としての伝統、更に「ホテルの里」としての恵まれた自然環境などの共通点があることから、平成4年10月、旧小城町と旧知覧町で「友好姉妹都市提携協定」を締結しています。その後それぞれの町は合併し「小城市」「南九州市」となりましたが、平成20年11月、「友好姉妹都市提携協定書」を締結しました。